

日本に於ける應用昆蟲學の前途

九州帝國大學農學部 江 崎 悌 三

ここに右の様な大變大きな標題を掲げて、私の様に應用昆蟲學に何の業績もないものがお話をするのは大變僭越であります、私のお話したいと思ふことは、特にこれから應用昆蟲學上の研究をしたいと思ふものゝ立場からの將來の應用昆蟲學に對する希望を申述べたいのであります。一口に應用昆蟲學を申しても隨分範圍の廣いわけでありましたが、ここでは單に農業、林業及拓殖昆蟲學の意で申述べます。從來日本に於ける應用昆蟲學上の業績は夥しい量に達し、且非常に立派な研究や、優秀な研究が發表されてゐます。それにも關はらず、これ等研究の輩出は全く個々獨立の觀があり、各研究所、農事試験場、専門學校、大學の相互間に僅かの連絡しかない様に思はれます。これは材料交換や圖書借覽の上から言つても大變不便が多く、従つて研究の上にも支障が多いことと思ひます。又應用昆蟲學はその性質上、あらゆる科學の中で最も國際的なことを要するもので、例へば一度新害蟲が他國から侵入した様な場合に、直ちにその原産地の昆蟲學者の援助を俟たなければならず、従つて本邦に於ては、獨り國內に限らず、殖民地及歐米諸國と恒に密接な連絡を保つといふことは特に必要なことと思はれます。然し數多い個々の試験場等にて廣く國際的の連絡を圖る様なことは、經費の上から、又事務の上からなかく困難なことで、従つて、この對外關係を完全にする爲には、さうしても全國の中樞機關の存在を必要とするものであります。この中樞機關は獨り出版物の交換に限らず、文獻及材料に

至るまで、すべて密接なる連絡を圖る必要があります。これはさうして、國立の事業となすべきもので、農林省か、又は同農事試験場にこの種の機關を設けることが急務であります。

次に應用昆蟲學の關係する範圍は如何にも廣汎で、從つてその出版物も實に多種多様な方面に散在してゐるので、新に仕事を始めようとするものにまつて、文獻の搜索又は入手にさいふことが、非常に困難なことが多いのであります。この爲に是非とも出版物の統一と交換又は購入の自由な方法を設け、又地方的出版物も雖もなるべく多數の部數を印刷し頒布の範圍を廣くし、且最も緊要なことは、前に申述べた中樞機關又は應用動物學會等に於て、今日本邦に於ても化學で行つてゐる様な、綜合的且總括的の *review* 又は *abstract* の出版を企て、頂きたいのであります。これは將來の日本の應用昆蟲學に於て、是非とも必要なことと思はれます。

研究の方向から申して、近來次第に其傾向の見えて來た、昆蟲の生態、生理、驅除法、藥劑等の理論的或は基礎的研究は將來益々發達することと思ひますが、同時に種々の特殊の問題に關する總括的研究の續々出現する様に希望する次第であります。

最後に、今日の本邦の昆蟲分類學の現状は未だ頗る幼稚であつて、應用昆蟲學上重要な昆蟲にても、之を同定出來ない場合が非常に多いことを痛感するのであります。これは非常な不便であるのみならず、又斯學の發達の上にも、非常な障害であります。この意味に於て、昆蟲分類學の健全にして迅速なる發達をいふことは、今日の本邦の應用昆蟲學の見地から見ても、非常な急務であります。今日分類學者の數は次第に増しつゝありますが、十分の域にはまだ前途遙遠の觀があります。こゝで特に應用昆蟲學者に希望し、且慫慂したいと思ふことは、その専門の研究に伴つて、應用上特

に重要な部類の分類學を一部分分擔して頂き度いことであります。これは單にそれ自身の直接の貢獻以外に、更に又、學者自身に對しても、分類學上の技術に熟達して、必ずや得る所至大であるを確信するものであります。

右の諸項は、或は一片の暗示に過ぎないかも知れませんが、やがて本邦の應用昆蟲學が健全に發達する上に、辿るべき必然の行程かと思はれます。何卒この私の卑見について、御教示を與へられ、又その實現に對して、御協力を切望する次第であります。

稻熱病の發生と土壤濕度との關係に就きて

京都帝國大學農學部 農學博士 逸 見 武 雄

類稻熱病發生程度と落水期との關係に就きては、近時漸く論議せらるゝに至りたるが、予は正確なる實驗的研究によりて果して土壤濕度と稻熱病發生程度との間に密接なる關係ありや否やを明にし、更に進んで其理由を闡明せんがため本研究を開始したるものなり。予の研究は目下繼續中にして尙輕々に理由の斷定をなす能はざれども、爰には接種試驗の結果のみを纏めて發表することとせり。而して予の得たる實驗成績を通覽するに、獨り類稻熱に限らず稻生育中の各時代を通じて、稻熱病發生程度と土壤濕度との間には密接なる關係あること明にして、例外なしに乾燥土に生育したる稻種稻熱病の被害多き結果を示せり。

本實驗に於ては異なる種類の土壤を通じ、同一量の肥料を施し、特に窒素量を過多にして其罹病率を増さしむるに努め